

社 報



「スモール・ジャイアンツ」

改善事例発表会

毎年、清水建設様の取引業者で組織される兼喜会主催の改善事例発表会が今年も開催されます。先日、優秀賞の選定があり、当社の「角締め金物の製作」という、改善事例が選定されました。11月19日には、コロナ禍のもと、人数限定で発表会が行われます。



昨年発表時の写真



「フォーブス」という経営雑誌があります。日本だけではなく、世界の企業や経営者取材し発信している、超有名な雑誌です。

そのフォーブス社が2017年から、日本の企業を対象に、始めたプロジェクトが「スモール・ジャイアンツ」です。

ー以下 抜粋ー

今こそ新しい市場をつくれ！

中小企業の大逆転

「大企業」や「中小企業」という規模のモノサシだけで、企業の真価は測れない。Forbes JAPANは、創業10年以上で売上高100億円未満ながら、私たちのライフスタイルを変えるようなユニークなプロダクトやサービスを生み出した企業に注目。2017年から発掘プロジェクトを推進している。

「中小企業」という呼び名はもうやめよう。未来を切り開く、日本が誇る小さな大企業、名付けて「スモール・ジャイアンツ」だ。

日本全国のビジネス現場取材するなかで、痛感させられたことがあります。それは、これまでスポットライトが

当たらなかった地域の小さな企業にこそ、日本の未来の可能性が眠っているということ。規模の大きさや華やかさはなくとも、「こんなにおもしろい人がいるのか」「国内では無名でも、海外ではこれほど賞賛を受けているのか」と驚きの連続で、感動させられることがとても多いんです。しかも、その感動をつくり上げていった過程を聞いていくと、彼らの苦労や成長のストーリーがまたおもしろい。

地方、中小、人手不足という「制約」があればあるほど、知恵が生まれて事業の飛躍に繋がることに気づきました。彼らのストーリーには、未来を拓くためのヒントが詰まっています。日本の底上げをやるには、こうした企業の活躍に注目すべきではないか。その思いで、「スモール・ジャイアンツ」プロジェクトは立ち上がりました。熱いドラマに溢れた企業が集結するこのアワードを、ぜひ一緒に盛り上げていきましょう。

ー 抜粋 終了ー

ただの中小企業にはなりたくない。

当社ホームページは <http://www.forbuild.co.jp> ご覧になれます。

緊張と緩和・集中と分散

現場で事故が発生する度に、叱られるのが、「気合が入っていない」とか、「緊張感が足りない」という言葉です。あいまいで具体性に乏しい言葉に意義が深いとは思えません。

工作中、いくらケガをしてはいけないとは言え、ずーっと、緊張と集中を維持することはできません。

休憩時間があるとは言えど、やはり無理な話です。

腕の良い職人さんは、自ら今までの仕事生活の中で、緊張すべき時に緊張し、緊張が不要なところでは神経を緩和してバランスを取ります。修練の賜物とも言える技です。

今月も事故がありませんように！

2020年 安全成績

■現場災害 2020.1.1-10.3

休業災害	-----	0
不休災害	-----	0
物損災害	-----	0
その他	-----	0
合計	-----	0

■交通災害 2020.1.1-10.3

人身災害	-----	0
物損災害	-----	0
合計	-----	0